

中区では、外国人住民と日本人住民が共により良く暮らすために、行政情報や暮らしのルール、社会の制度など生活に役立つ情報を多言語広報紙として中国語と英語でお伝えしています。

中区役所多言語広報紙
英語版 中国語版



ごみの出し方、どうするの？

“おうち時間”が増えて、ごみも増えていませんか？ ごみの出し方は地域によって異なり、近くに知り合いがいないと聞きづらいもの。なぜ分別して出さなければいけないのか、そのために一人ひとりがどう出せば良いのか。今回は、横浜市のごみのあれこれを紹介します。

大きなごみは、出し方いろいろ

引っ越すときに必ず直面するのが、大きな家具家電をどう処分するかという問題。不要なものをお部屋に置いたまま引っ越したり、ごみ収集日に集積場に出したのに回収してもらえなかったり…。そんな経験談を耳にしたことはありませんか？「出し方が分からない」という声がよく寄せられるものを、どう出せばよいのか解説します。

大きな家具・家電



ソファ、食器棚、マットレス、電子レンジなど
▶ 粗大ごみ

電気冷蔵庫やテレビなど
▶ 家電リサイクル法の対象
※横浜市では収集しません



デスクまわりのもの



パソコン
▶ メーカーがまとめてリサイクル
※横浜市では収集しません

プリンター、キーボードなど

▶ 50cm 以上のものは粗大ごみ、小さい場合は燃やすごみ



大きさに気を付けたいもの



フライパン
▶ 取っ手を含まない直径の大きさが 30cm より短ければ小さな金属類

傘の骨組み（金属製）

▶ 30cm 以上の大きさでも小さな金属類（布部分は取り外す）



粗大ごみ

金属製品で 30cm 以上のもの、それ以外で 50cm 以上のもの。

要事前申込！

通常の収集日に集積場に出しても回収されません。粗大ごみ受付センターに電話やインターネットから予約すると、回収の日時と場所が決まります。回収してもらうまで約 2 週間かかるので、計画的に申し込みましょう。

収集の申込み→



有料！

市内のコンビニエンスストア、郵便局、金融機関などで手数料を払い、粗大ゴミに貼るシールを受け取りましょう。粗大ごみの種類や大きさによって手数料は異なります。

収集までの流れ→



家電リサイクル法の対象になるもの

エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機は、電化製品を売っている店などがまとめてリサイクルします。市では収集できません。売っている店に回収を申し込む、横浜家電リサイクル推進協議会へ申し込む、家電リサイクル協力店へ申し込む、家の近くの指定取引場所へ自分で持っていく方法があります。

※ほかにも、タイヤやピアノなども市では収集できません。購入先や販売店に相談しましょう。

今回お話を聞いたのは…

横浜市資源循環局中事務所（TEL: 045-621-6952）

大きな不要品は粗大ごみとして処分するだけでなく、フリマサイトなどで売ったり、業者に買い取ってもらったり、費用を抑えて処分することもできます。でも、不安に思うことや判断に迷うことがあったら中事務所にお気軽にご相談ください。





なぜ、どうやって ごみを減らすの？

へら星人 ミーオ

故郷と比べて、横浜市では、ごみの分別が大変だと感じたことはありませんか？横浜市内で1年間に排出されているごみは約87万トン。これは市民1人あたりに換算すると約233キログラムにもなる量です（平成30年度実績）。少しでも減らす工夫が必要です。



ごみを減らすのは理由がある そのために分別をする

「ヨコハマ3R夢！」
マスコット イーオ

● 温暖化を防ぐため

石油やものを燃やす際に、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生します。温室効果ガスにより地球温暖化が進行すると、干ばつや集中豪雨などの異常気象が起きやすくなってしまいます。

● 資源には限りがあるため

紙はパルプから、プラスチックは石油から。ものはすべて限りある資源からできています。資源を節約するために、紙やペットボトルなどをリサイクルする必要があります。

● 資源物とごみを分けるとリサイクルできるため

すべてをごみとして処分するのではなく、ごみと資源物（リサイクルできるもの）を分けることで、資源物はまた新しいものとして生まれ変わることができます。

☆おうち時間に工場見学しよう☆

横浜市公式 YouTube チャンネルでは、工場見学に行った気になれる動画を公開中！焼却工場の様子や、分別した資源物のその後を垣間見ることができます。“おうち時間”に親子で工場見学はいかが？（焼却工場の動画のみ、英語含む4言語対応。）



資源循環局中事務所が教える！ ごみを減らすための工夫



分別ルールを周知するために、『ごみと資源物の分け方・出し方』というリーフレットを10言語で作成し、区役所に配架しています。また、ごみ出しルールの啓発動画は英語版と中国語版があり、YouTube で配信しています。ぜひご覧ください。



啓発動画

また、フードドライブに協力される方も増えています。10月は食品ロス削減月間で、賞味期限が2か月以上残っている未開封の食品を集めていたのですが、想像以上にたくさん集まりました。集まった食品は、整理をしたうえで子ども食堂や福祉施設などに提供します。

ごみを減らすため今すぐにでもできることは、必要以上に物を買わないこと。必要なものだけを買うように気を付けてみましょう。



→集まった食品を確認して整理する様子。ここには写りきれないほどの食品が。



簡単、いろいろ！ 分別方法の調べかた

ミクシヨナリー
(ごみの分別検索システム)
P3 参照



アプリ

iPhone 版 Android 版



パンフレット/
リーフレット



横浜市
LINE 公式アカウント



朝はなにかと忙しく、夜のうちにごみを出したいという人もいるのでは？しかしごみ出しの時間は朝（8時まで）と決められています。それは集積場所をきれいに維持するため。近くに住む人たちが構成される自治会町内会は日々、集積場所をきれいにするため活動をしています。

みんなできれいに！ 集積場所

原則として、ごみを出せるのは収集日当日の朝になってからです。夜のうちにどうしても出してしまうと、カラスやネコに荒らされる可能性があるからです。しかし朝に出しても、収集車が来る前にカラスの被害を受けてしまうことも。このため、自治会町内会で話し合い、カラス避けネットを設置しているところもあります。

集積場所は、自治会町内会が中心となって地域の人が協力し、掃除したりカラス対策をしたりして、きれいに維持されています。



よくあるお悩み

集積場所にごみの収集曜日が貼り出しているようですが、日本語だとよく理解できません…

収集曜日や過料のことを盛り込んだ貼り紙を英語と中国語で用意し、外国人が多く住む地域の集積場所に要望に応じて貼付しています。同じ地域に住む仲間として、困っている人がいたら声をかけて助け合いましょう。

→ごみ出しルールの啓発動画の一場面。集積場所を適正に保つためには、適切に分別をして、決められた曜日・時間を守る事が大切。



問合せ先の応答は「英語対応」「中国語対応」と書いていないものは、日本語での対応になります。

■ みんなで手を洗おう！～手洗いは感染症・食中毒対策の基本です～

秋から冬にかけては感染症が流行しやすい季節です。感染ルートや正しい予防法を知り、自分がうつらない・ほかの人にうつさない対策をしましょう。

▶手を洗うタイミング

帰宅時、調理前後、食事前、トイレの後、おむつ替えの後、嘔吐物を片付けた後など



ノロウイルス

▶感染ルート

- ・患者の便や嘔吐物を処理した人の手などを介して感染。(直接接触なくても、便や嘔吐物に含まれているウイルスが空気中に漂い、これを吸い込むことで感染することがあります。)
- ・感染した人が調理などをすることで汚染された食品を食べて感染。
- ・汚染されていた二枚貝を、生または十分に加熱調理せずに食べて感染。



▶対策

手洗い、消毒、食品の十分な加熱（食品の中心部を85～90℃で90秒以上加熱しましょう）

▶ポイント！

- ・便や嘔吐物の取り扱いに注意しましょう。処理する際は使い捨て手袋やマスクなどを着用しましょう。
- ・下痢や嘔吐などの症状がある時は、食品を取り扱わないようにしましょう。また、お風呂は最後に入るか、シャワーですませるようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症

▶対策

- 手洗い、消毒、マスク着用
- 3つの密を避けましょう
- ・「密閉」空間にしないよう、こまめな換気をしましょう！
- ・「密集」しないよう、人と人との距離を取りましょう！
- ・「密接」した会話や発声は避けましょう！



▶食事の際の注意点

- ・複数人で食事をするときには、できるだけ距離をおいて座りましょう。
- ・食べる時のみマスクを外し、それ以外のときはマスクを着用して、歓談時の感染を防ぎましょう。
- ・大皿での取り分けや回し飲みは避けましょう。

<中区役所福祉保健課

TEL: 045-224-8332

中区役所生活衛生課

TEL: 045-224-8337 >

■ 中区に住む中国語を母語とする人のための妊婦教室のご案内(中国語通訳付)

母国語が通じない日本での子育てに不安はありませんか？ 母国とは異なる出産や育児に戸惑いを感じることも多いかもしれません。同じ悩みを抱えるママ達と一緒に、日本での妊娠・出産・子育てについて考えてみましょう。

▶日時：3月5日(金) 10:00～12:00

(中区役所本館 1F

総合案内付近 9:45集合)

▶会場：中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」

▶対象：中区に住む中国語を母語とする妊婦とその家族 先着10人

▶費用：無料

▶申込み：1月8日(金)からメールで申し込みください。



E mail : na-purema@city.yokohama.jp

※名前・町名・電話番号・出産予定日・出産病院・参加予定人数を記載してください。

<多言語ナビかながわ

TEL: 045-316-2770 (中国語：月・木)>

読者の声

～最近お伺いした「声」をご紹介します～

外国人向け期間限定のお得な切符などがあるようです。いつか日本国内を旅行してみたいです。

コロナウイルス感染症のことで、色々なことが心配です。感染防止対策にはしっかり取り組んでいます。

国際サービス員 区役所 2階 23 窓口
(中国語) 8:45～15:45 (英語) 10:00～17:00

区役所業務の案内、窓口での通訳、諸証明を取る際の申請書の記載サポートなどを行います。日本語での手続きが不安な方は、声をかけてください。

これがわからない！

Q&A



ごみの分別方法がわかりません！ 何か良い方法はありませんか？

⇒そんな質問にすぐに答えてくれる検索システム「ミクシヨナリー(MIctionary)」が、横浜市のホームページにあります。

検索欄に分別を知りたい品名を入れて「検索」ボタンを押すだけです。疑問に思ったらすぐに検索してみてください。50音一覧から探すこともできます。

日本語、英語、中国語(簡体)のミクシヨナリーもあるので、ぜひ使ってみてください。



ミーオとイーオの分別辞典
MIctionary
ミクシヨナリー



▶パソコン用の検索画面

日本語

<https://cgi.city.yokohama.lg.jp/shigen/bunbetsu/>

▶携帯用の検索画面

日本語

<https://cgi.city.yokohama.lg.jp/shigen/bunbetsu/m/>



▶スマートフォンを利用している人は

「横浜市ごみ分別アプリ」からの検索が便利です

アプリをダウンロードすればミクシヨナリーのほか、住んでいる町のごみの収集日を内蔵カレンダーに反映させることもできます。その他にも、ごみの分別や出し方のポイント、ごみの分別やリサイクルに役立つ情報など、ごみの分別に関する情報がたくさん掲載されています。



ダウンロード

iPhone 版



Android 版





ちょっと出かけて
みませんか

新しい市庁舎

昨年6月に横浜市庁舎が新しく生まれ変わりました。1～3階には商業施設などがオープンし、賑わいスポットになっています。



アトリウム (1階)

みなとみらい線馬車道駅と直結し、三層吹き抜けの開放的な空間で、気軽に集えるスペースです。イベントやセレモニーの場としても活用されています。



プレゼンテーションスペース (2階)

横浜の歴史や文化などの魅力を紹介しています。

LUXS FRONT (ラクシス フロント) (1・2階)

フードホールやブック&カフェ、和・洋・中などバラエティー豊かなレストラン、コンビニや横浜みやげを扱うショップなどが出店しています。



市民ラウンジ (3階)

大岡川沿いの一画で、みなとみらい21地区の展望をゆっくりお楽しみいただけます。

利用可能時間：月～金 7:00～20:00

※高層部にある市役所の各部署へお越しになる場合は、3階受付にて入館証を受け取り、目的の部署のフロアに止まるエレベーターをご利用ください。



アクセス

中区本町6-50-10

みなとみらい線「馬車道駅」1C出入口直結
JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩3分

外国につながる若者たちの自主製作映画

「向陽而生～私らしく生きること」上映&出演者トーク

- 日時：3月4日(木)
17:30～19:00
- 会場：横浜市開港記念会館
- 費用：無料
- 申込み：不要

外国につながる若者たちの居場所「Rainbowスペース」。そこに集う中核メンバー(にじいろ探検隊)が自らの軌跡を映画にしました。来日に至る心境、親との絆、仲間との学び合いを描いたこの映画は、複数の言語・文化間に生きる若者たちが自分の「ライフ」と向き合い、自分らしい生き方を見つけようと動き出した物語です。映画上映のあとは、監督をはじめ探検隊のメンバー・出演者が製作の経緯、思いを語ります。

<なか国際交流ラウンジ TEL: 045-210-0667 >



中区に暮らす外国人が発見 日本の暮らしと文化

不要品の処分

日本に住んでいる外国人の中には、引っ越しをするときや帰国するときの不要品の処分で、困っている人が多くいるのではないのでしょうか。

日本で暮らしている間に、荷物が段々増えてしまった人もいます。その荷物が、引っ越しや帰国するときに大量の不要品となることもあります。身の回りの小さな物は、一般ごみとして簡単に捨てることができますが、家具や布団などの大型のごみ、いわゆる「粗大ごみ」は、一般のごみとして出すことができません。不要になったとき、自治体に申し込みをしてお金を払い、回収してもらいます。ただし、テレビや冷蔵庫のような家電製品など、横浜市では回収できないものもあり、

別の方法で処分してもらわなくてはなりません。粗大ごみでも回収できるものとできないものがあり、外国人にとってはややこしいです。

不要品の処分では、まだ使える物は捨てるのではなく、リサイクルショップやフリーマーケットなどを利用して、再利用してもらうなどの方法を考えるのも良いかもしれません。

外国人にとって、ごみの仕分けや粗大ごみの回収はとても複雑です。不要品の処分には時間がかかることもあるので、引っ越しや帰国のときには、早めに計画して処分することが大切です。
(なか国際交流ラウンジ中国語スタッフ)



知ってほしい! 日本の文化

季節の行事や、衣・食・住に関する日本の文化などを紹介します

“ひな人形”

3月3日の女の子の節句「ひな祭り」では、女の子の健やかな成長を祈ってひな人形を飾ります。

ひな人形の由来は諸説ありますが、古くは、厄払いのため、紙などで作った人形を川に流す「流し雛」がありました。その後、貴族の女の子たちの間で、男女一對の人形と小さな御殿で遊ぶ「雛遊び(ひいなあそび)」が流行し、それらの流れが結びついて、豪華な人形を飾るように変化していったようです。

この時期になると七段飾り、吊し雛、木目込み人形、土人形など様々な人形を目にすることがあると思います。「桃の節句」とも言われるひな祭りですが、春の訪れを感じながら色とりどりの人形を楽しみましょう。



<多言語広報紙配布先を募集しています> 外国人の集まるお店や病院、機関など、ご希望があればお届けします。

次号は4月1日発行です